

4人の初段が誕生！！！！

第24回 段級位認定会(日本棋院横浜栄支部主催)

平成から令和へと新たな時代を迎えた年も残り僅かとなった12月22日“あーすぷらざ”において認定会が開催された。

日本棋院が改革を進める中、横浜栄支部としても新しい対応に乗り出した。

今回、参加者は52人、4回戦という長丁場を戦い抜き昇段者4人、昇級者13人(中学生以下6名)が誕生した。



日本棋院が緊縮財政を進める中でプロ棋士を招聘できないのは残念ですが、新しい形の大会を開催するなど、引き続き囲碁の普及・発展に寄与していきたいと思っております。

支部長 佐野嘉男



初段獲得者(敬称略)

貞野泰彦
田中晴夫
柴田 満
懸 直太朗(小6)



日本棋院の財政事情、支部への支援内容が変更され支部会員へのサービスに苦勞を強いられる中、新たな企画を立ち上げました。

「認定会」については、本院のルールに戻し対局を4回戦とし<1局75分>とたっぷり時間かけ昇段・昇級にチャレンジして頂きます。

副支部長 坂田保夫(総括責任者)

『新企画・アマ高段者による指導碁』 栄区アマ棋界から選りすぐりの8人に協力頂いた。



田中康弘七段(左)



肥塚淳次六段(左)

アマ高段者の方々は、たっぷり時間を使い懇切丁寧な指導をして下さいました。指導を受けた支部会員からは「最初から打ち直してくれたり色々な質問にも分かり易く教えてくれたりで大満足でした」との感想が寄せられました。

副支部長 田中建一

(アマ高段者による指導碁担当)



三間修司六段(右)



栗林武磨六段(右)

「高段者にチャレンジ親睦囲碁」と銘打った新企画には、初段、二段を中心に20数名の会員が参加。対局後の指導にも十分時間をかけ、熱い熱気が部屋に充満し、大好評であった。

この企画は大成功で、次回からはなお盛り上がる予感が会場に溢れていた。(取材者の感想)



佐野嘉男六段(左)



滝沢隆五段(左)



佐藤尚司五段(左)



道休俊和五段(左)